

わくわく商店街

取り組みに至る背景・事業の目的

町内のお年寄りから「近く買い物をする場がなく、交通手段もない」との声が多く寄せられたことから、社会福祉協議会、商工会、ボランティア団体、行政が一体となった実行委員会を組織し、「つつみ住民活動センター」において、賛同した商店等が出店し“わくわく商店街”を開催し、高齢者の買い物支援を図るとともに、商店の販売力の向上・活性化に取り組んだ。

また、「つつみ住民活動センター」は住民活動の拠点であることから、買い物が終わった後はボランティアとお茶を飲みながら交流等することで、お年寄りの生きがい対策への波及効果も期待した。

事業内容

- 毎月第2・4水曜日 am9:30~pm1:00(送迎はam9~pm1:30)
山ノ内町つつみ住民活動センターのミーティング室内にミニスーパーの開設
- 買い物の+αとして、住民活動センターボランティアがお迎えするお茶飲みサロン場所の開設
- 定期的にお楽しみ企画（寄席、マジックショー、歌謡等）で会場内を盛り上げ、買い物+地域交流拠点の実現に取り組んだ。
- 参加者は、一人暮らし高齢者を中心とした買い物弱者を送迎にて50名・徒歩等25名・併設のデイサービス利用者より15名、他ボランティア等住民活動センター来場者等々を含め、120名程度
- 出店商店、住民交流の団体等を対象としたボランティア学習会、研修視察の実施



【ミニスーパーでの買い物】

事業効果

一人暮らし高齢者を中心とした買い物弱者の参加により、品物を見て選ぶ楽しみを大切にする中で、安否確認や地域の交流拠点の形成、ひいては介護予防にまで繋がる効果が得られた。

また、町内各所から送迎する参加者同士の交流や、サロンでお迎えするボランティアとの地域・世代間交流が、小規模でも最大の効果を生み出すことができた。

町内の一人暮らし高齢者が全て買い物弱者ではないが、620名程度いる高齢者に対し、様々な角度から開催のお誘いをすることで、安否確認の機会が増え、共助力の強化が図れた。



【お茶飲みサロンでの交流】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- ボランティアを中心としたお楽しみ企画等の充実や特別支援学級の出店による社会参加を継続していく。
- 利用者の声を常に聞き、品揃え等工夫しながら運営していく。
- 買い物のしやすさから、今後町内4地区の公民館等による小地域の販売拠点も検討していく。
- 様々な立場の住民が更につながる拠点にしていく。

【選定のポイント】

本事業は町内のお年寄りを社会福祉協議会のバスで送迎し、様々な地区のお年寄りが交流する場を提供することにより、買い物弱者対策に留まらず、お年寄りの生きがい対策にも及んでいる点が評価される。

また、買い物弱者対策の事業で社会福祉協議会、商店会、ボランティア団体、特別支援学級など様々な主体が協働しながら取り組んでおり、極めてモデル性の高い事業である。

| | | | | | | | |
|--|--|-------|-----------|-----|--------------|------|--------------|
| 団体名 わくわく商店街実行委員会（山ノ内町） 連絡先 0269-33-1105 ホームページ、メールアドレス info@honobono-shakyo.or.jp | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">事業タイプ</td> <td style="padding: 2px;">ソフト・ハード事業</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">事業費</td> <td style="padding: 2px;">1, 637, 831円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">支援金額</td> <td style="padding: 2px;">1, 233, 000円</td> </tr> </table> | 事業タイプ | ソフト・ハード事業 | 事業費 | 1, 637, 831円 | 支援金額 | 1, 233, 000円 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード事業 | | | | | | |
| 事業費 | 1, 637, 831円 | | | | | | |
| 支援金額 | 1, 233, 000円 | | | | | | |

